

第 60 回九州経済同友会大会アピール

人口が減少し市場が縮小するなかにあつて、将来にわたって九州経済の活力を高め維持するためには、成長分野への参入や海外市場の開拓など新たな事業に積極果敢に取り組む企業が次々と育つことが求められる。

そのためには、チャレンジ精神を発揮して積極的に事業に取り組む若手経営者、中堅幹部、起業家といった若手経済人の継続した輩出が必要不可欠である。

我々経済人は、若手経済人の育成を最も重要な責務と認識し、企業内において若手の指導・育成に取り組むとともに、地域においては自治体や大学等と連携して若手経済人の育成に力を注がなければならない。

このため、我々経済人は以下の 4 点に重点的に取り組む。

1. 現場での経験を通じた中堅幹部の育成

企業の持続的な成長と発展のためには、企業経営者の後継となり得る中堅幹部の人材育成が不可欠である。早い段階で彼らの経営マインドを涵養するため、社内ベンチャー制度や海外出張・海外赴任等を通じ、若手に現場での経験を多くつませる仕組みや工夫を取り入れる。そして、若手社員を責任あるポストに登用し、リスクを恐れずに新たな事業に取り組む機会を増やすことで、チャレンジ精神を涵養する。

2. 外部人材の積極的な登用

我々は企業の活力を高めるため、専門技術者や海外留学経験者、外国人留学生などの外部人材を積極的に採用する。彼らを通じて新たな事業に必要な技術やノウハウを取り入れるとともに、社内の人材に刺激を与え、組織の活性化を図る。

3. 若手経済人との交流促進と活躍の場の提供

若手経済人が知識と経験を深め、活躍の場を拡げるためには、世代を超えた経済人ネットワークの構築が必要である。

このため、九州経済同友会を構成する各県の経済同友会は、若手経済人を会員として積極的に受け入れ、彼らとの交流を促進する。

4. 産学官連携によるチャレンジ精神の涵養

九州が若手経済人を次々と輩出する地となるためには、内向き志向・安定志向を変革し、志のあるチャレンジ精神旺盛な若者を育てなければならない。

我々経済人は、若者にチャレンジ精神の重要性を認識させるため、大学や高校等に出向いて講義や講演を行い、また企業においてはインターンシップを積極的に受け入れる。

同時に、地方自治体や大学等教育機関は、学生ベンチャーの起業促進支援や海外留学の支援などにより、学生がチャレンジ精神や志を育む機会を拡充すべきである。

平成 23 年 10 月 6 日

九州経済同友会

代表委員 石原 進

代表委員 甲斐隆博

福岡経済同友会

佐賀経済同友会

長崎経済同友会

熊本経済同友会

大分経済同友会

宮崎経済同友会

鹿児島経済同友会

沖縄経済同友会